



スコア映画サロンのお知らせ vol.276

◆日時：2023年8月20日(日) 14:00~18:00

◆会場：名古屋国鉄会館
(わからない方は10分前にスコアに集合またはお問い合わせください)
※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

課題映画

▷アウシュヴィッツの生還者

(8/11より伏見ミリオン座にて公開)

▷リボルバー・リリー

(8/11よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

サロンメモ

映画の評価が低いからサロンの場が盛り上がりがないわけではない。今日の2本、どちらの映画も評価は低かったが面白いサロンの時間が楽しめた。

「サントメール」ある被告」はとにかく退屈な作り。そのくせ、教養の高さを誇示するような要素がそこそここに散りばめられ、頭の中と思いの強さだけが前のめりになった種々な映画だった。話したい内容は汲み取る事が出来るが、いかにせん映画を見せる工夫がなさ過ぎる。ただこういう意識の高い映画だと必ず「教えてやっているんだ」「リアリティのための演出だ」とか無意味意見が出そうだが、とんでもない。ただ力がないだけで。言いたい事は微細ながら伝わってくるのもつたいない。「山女」はもっと問題。選んだ時は全く知らなかったが、これ事前にテレビで放映されたとか(短い版?)。福永監督は過去2作品がよかっただけに選んだが、このガッカリ感はそのころ来るものだったのかと納得した。無意味で無駄に豪華なキャスティングもテレビだからかと納得。テレビで既放映とかネットで同時配信とか、なかなか事前を知るの難しい。選んだこちらが悪い面はあるが、映画もなかなかの筋さ。それまでマトモに顔を使っていて自分が馬鹿だったと思わせるオチはどうなんでしょう。「ジャンヌ・ダルク」がやりたかったのかな。

思わず前のめりになって自分の意見だけを延々と書いてしまった。失礼しました。でもまあ御座過ぎて盛り上がりません課題映画よりは今回の2本はよかったです。次回の実定作品と「リリー」レビンソン作品もそうあって欲しい、いや、質も高く盛り上がる映画が一番だ。(小西)

7/23(日)	ある被告 サントメール	山女	1秒先の彼	ジャンヌ・ダルク 運命のダヤール	遺灰は語る	苦い涙	探偵マリコの 生涯で一番 悲惨な日	大名俳優
サロン参加者								
三田 正継	3	3	4	4	4	3	3	3
加藤 賢二	3	3						
田中 健一	5	2						
山本 正明	3	2	4	3	2	3		4
井上 章		3		4			3	
斎藤 文彦	3	3		5				5
横井 清	3	2	4	4	3			3
天野 雄喜	2	3	3		3	3	2	
白石 麻由子	2	3	4			4		
高橋 広河	4	3		4			3	3
岡村 昌俊	3	4						
榊原 隆裕	3	3		4			3	4
小西 孝直 (スコアサロン代表)	2	2	3		3	2		
坪井 篤史 (スコア解説人)			4	3	4	4	2	3
木全 純治 (スコア代表)		3	4	4				

初めて参加される方は参加費無料！10分前にシネマスコアまでお越しください。